

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜  
平成30年度 事業報告書

1 施設の管理運営・貸出業務

平成30年度は、第4期指定管理期間の1年目として、研修室等の貸出しにおける新たな目標稼働率を設定するとともに、設備・備品等の修繕・更新計画を作成し横浜市所管課と共有しました。

(1) 施設の目的に沿った管理運営

施設の設置目的である「福祉活動、保健活動等に従事する者その他の市民に対し研修、情報の提供等を行い、並びにこれらの者の交流の場及び機会を提供することにより、福祉活動、保健活動等の推進に必要な人材の養成及び確保を図る」(横浜市福祉保健研修交流センター条例第1条)に沿った運営を行うため、福祉保健活動従事者等へ施設を提供しました。

なお、ラポール上大岡の整備に伴う改修工事により、一部研修室が使用中止となるなど利用に支障が出る状況がありましたが、利用者への周知を速やかに行いました。

ア 目標稼働率

研修室・討議室を合計した貸出状況

	28年度	29年度	30年度
貸出室数(室)	13,275	13,958	13,657
稼働率(%)	61.3	63.7	63.1
平日昼間(9時~17時) 稼働率(%)	71.0	73.2	70.6

第4期指定管理期間の目標稼働率62%は達成しましたが、平日昼間の目標稼働率73%は未達でした。

目標稼働率62%を達成した原因としては、インターネット予約システムの利便性や、新たに作成したチラシを港南区内の一般企業等への配布等、積極的に広報を行った結果だと考えられます。

一方、平日昼間が未達だった原因として、介護支援専門員関連研修において、30年度の介護支援専門員の合格者が減少したことに伴い研修数も削減したことが考えられます。

イ 施設利用者数

	28年度	29年度	30年度
利用者数(人)	176,597	175,808	171,178
研修室等	165,822	166,433	161,280
情報資料室	10,775	9,375	9,898

## ウ 周知・広報

- (ア) 予約管理システムのデータを活用し、利用実績の傾向を反映させたチラシを作成し、港南区内の一般企業等約 1,200 か所へ配布しました。
- (イ) 身近な地域における広報として、区内の区社会福祉協議会や地域ケアプラザが実施する、地域の福祉保健活動従事者が参加する会議等にて周知しました。
- (ウ) ウィリング横浜が実施する研修の案内を市内福祉保健関係施設・事業所約 2,700 か所へ送付する際、研修室等のリーフレットも同封し周知しました。
- (エ) 本会の広報紙「福祉よこはま」や地域紙、インターネットの会議室検索サイトへ掲載し、広く周知を図りました。

## (2) 建物・施設の管理

利用者が施設を快適・安全・安心して利用できるよう、施設の維持・保全・管理に努めました。

### ア 建物・設備機器修繕業務

建物や設備機器の修繕を 42 件行いました。

臨時休館日や貸出室の利用のない時間帯に設備点検等を実施し、設備の保守及び小破修繕に努めました。

また、省エネルギー化を目的に研修室等の照明の LED 化に取り組みました。(研修室等室内は 73%実施済み)

なお、第 4 期指定管理期間における修繕・備品更新計画を作成し、計画的な修繕等に取り組みました。

### イ 清掃・設營業務

良好な環境衛生や美観の維持を心がけ、施設として安全かつ快適な空間を保つため、日常清掃と定期清掃を実施しました。

また、利用者から机・椅子等の配置や備品の要望を事前に伺い準備し、当日の利用が円滑かつ利用満足度が上がるよう準備しました。

### ウ 警備関係業務

職員による 1 日 2 回の定期巡回の他、建物の警備員による 1 日 4 回の巡回により施設の防犯、保安管理に努めました。また、防犯カメラにより、防犯上重要箇所の確認を行いました。

## (3) 利用者ニーズの把握、苦情対応

### ア ご意見箱の設置

館内に 4 か所設置しているご意見箱にて 10 件 (29 年度: 7 件) のご意見をいただき、回答を館内に掲示しています。また、寄せられた苦情は 0 件 (29 年度: 0 件) でした。

### ※ 主なご意見と回答

ご意見 (要約)	回答 (要約)
【館内備品への要望】 トイレにも消毒用アルコールスプレーを用意してほしい。	以前は、各階のトイレにも設置しておりましたが、使用頻度が限られていたため撤去した経緯があります。この度、ご利用が多いと想定される 12 階トイレへ、改めて設置いたしました。
【案内図への要望】 ウィリングへの分かりやすいアクセスマップ等はないでしょうか?	アクセスマップについて、当館ホームページ ( <a href="http://www.yokohamashakyo.jp/willing/">http://www.yokohamashakyo.jp/willing/</a> ) にて、施設周辺地図と上大岡駅改札口 (京浜急行及び市営地下鉄) から当館までの経路図を掲載しております。

## イ 窓口満足度調査と利用者アンケート

来館者に対する窓口満足度調査(11月)を行い、231件の回答をいただきました。結果は、職員の身だしなみや言葉遣い、説明の分かりやすさ等の質問に対して、4点満点中3.8点の評価をいただき、自由記述欄に記載があった内容を職員間で共有し日頃の接遇を見直しました。

また、合わせて利用者アンケートを実施し、設備や備品の状態、館内清掃状況等に関してご意見を伺い、次年度の備品更新計画を見直しました。

### (4) 職員体制・育成

施設運営や事業運営に支障がないよう、職員配置計画通りに配置することができました。

なお、今年度から保健師を配置し、保健分野の研修や情報資料室の蔵書を見直し、拡充しました。

職員育成の取組みとしては、本会が実施する苦情解決研修や接遇研修への参加の他、ウィリング横浜独自で人権研修(認知症サポーター養成講座)を実施し、利用者の立場に立った接遇技術の習得に努めました。

## 2 人材育成事業

### (1) 主催研修

福祉保健従事者及び民生委員・児童委員等の活動者を対象とする、公共性の高い研修機関として「よこはま福祉人材育成指針」に求められる人材育成を推進するため、69件の研修を実施しました。研修コンセプトの「組織力の向上」と「地域福祉の概念普及」を意識し、「地域力を高める」の研修では地域でのネットワーク作りができる人材の育成を目的とした研修を実施しました。

保健分野の研修は、カレッジ参画機関との連携等により開催しました。特に応募率の高かった研修については年度途中に追加開催し、年間で10件の研修を実施しました。

また、ウィリング横浜にアクセスしにくいエリアの方々にも参加しやすいよう行っている出張研修について、8件の研修を実施しました。出張研修の応募率は130%、参加者数は411人でした。

毎年、研修の企画にあたっては、研修の受講者アンケート、施設・事業者へのヒアリング、横浜市社会福祉協議会他部署のアンケート等を検討し受講ニーズの把握に努めました。研修受講者アンケートの希望から、30年度は「こどもの食物アレルギーとアトピー性皮膚炎～正しい知識と対応～」などを採用し、新規研修として実施しました。

引き続き開催する研修についても、アンケート等の意見を参考に内容等を改善し実施しました。

その結果、「オ 受講者アンケート 結果(P.7)」にあるとおり、受講者からは96.5%の総合評価をいただきました。

研修事業の年次推移（指定管理外事業を除いた実績を表示）

	28年度	29年度	30年度
研修件数（件）	63	63	69
研修コース数（コース）	74	70	82
研修受講者数（人）	4,749	7,806	4,716
研修開催日数（日）	98	93	105

※ 平成28年度は新任民生委員研修(879人受講、改選時のみ開催)、平成29年度は全員研修(3,708人受講、創立100周年事業)の開催がありました。

ア 組織力を高める：32件

組織人、職業人として、各々の職員が職務階層別に求められる役割行動を理解し、自らのキャリアデザインを描くこと、そして、組織活動を円滑かつ効果的に進めるための知識や技術の修得を目的として実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅰ 管理職員研修	1	2	36	30
2	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅱ チームリーダー研修	2	4	72	63
3	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅲ 中堅職員研修	2	4	72	50
4	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅳ 初任者研修～社会人経験者編～	2	6	72	49
5	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅴ 初任者研修～新卒者編～	2	4	72	50
6	トップセミナーⅠ ～社会福祉法人会計と改正社会福祉法から見る組織づくり～	1	1	60	37
7	トップセミナーⅡ（横浜市社協・神奈川県社協・川崎市社協・相模原市社協共催）	1	1	150	65
8	社会福祉施設の経営基礎 ～信頼関係があつてこそ生きる支援～	1	1	36	20
9	チームリーダーのための人材育成研修	1	1	36	36
10	リーダーシップ基礎研修	1	1	36	67
11	リーダーシップ基礎研修【出張型】	1	1	36	42
12	後輩育成担当者のためのOJT研修	1	2	36	37
13	後輩育成のためのOJT基礎研修	1	2	36	33
14	支援者入門編 ～利用者主体の支援を考える～	1	1	36	46
15	職場研修担当者研修	1	2	36	27

16	管理者のためのメンタルヘルス対策研修	1	1	36	22
17	チームリーダー・中堅職員のためのセルフマネジメント研修	1	1	36	37
18	組織で取組むリスクマネジメント研修 ～効果的なリスク管理を目指して～【出張型】	1	1	42	20
19	サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント研修	1	1	36	48
20	苦情対応基礎研修 ～リスク入門編～	1	1	42	38
21	中堅・チームリーダー職員のための接遇研修	1	1	42	52
22	初任者のための接遇研修	1	1	42	38
23	サービスレベルアップのための記録の書き方・読み方研修	1	1	54	34
24	伝える、伝わる記録の書き方研修	1	1	36	51
25	伝える、伝わる記録の書き方研修【出張型】	1	1	36	36
26	社会福祉法人会計基準対応研修 基礎編【出張型】	1	2	30	38
27	社会福祉法人会計基準対応研修 応用編	1	2	30	36
28	労務管理研修	1	2	42	41
29	福祉施設・事業所のための広報力向上研修	1	1	36	29
30	社会的養護における組織力向上のための中堅・チームリーダー研修	1	2	80	29
31	社会的養護における組織力向上のための中堅・チームリーダー研修	1	2	80	8
32	新卒者向けフォローアップ研修	1	1	50	19
計 32 件		36	55	1,572	1,228

イ 専門力を高める：27件

福祉保健活動従事者として求められる社会福祉実践の原則や、自らのスキルアップを目的とした知識、技術の修得を目的として実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	〔社会福祉援助技術研修Ⅰ〕 社会福祉援助技術の基礎研修～支援とは何か～	1	1	36	36
2	〔社会福祉援助技術研修Ⅱ〕 面接技術～相談面接・生活場面面接を学ぶ～	1	1	36	36
3	〔社会福祉援助技術研修Ⅲ〕 アセスメント技術～利用者の中の心の中を理解する～	1	1	36	35

4	〔社会福祉援助技術研修Ⅳ〕 スーパービジョンの基礎技術～援助者の成長を支援するために～	1	2	36	35
5	障害者支援基礎研修 ～利用者本人の「思い」に寄り添うために～	1	1	36	53
6	精神障害の理解 ～障害当事者からのメッセージを交えて～	1	1	60	53
7	レクリエーション研修	1	1	48	39
8	福祉保健従事者・活動者のための「グリーンケア」講座	1	1	40	34
9	チームで認知症ケアを実践！	1	1	36	19
10	制度を学ぶ研修Ⅰ～生活保護制度とは～	1	1	60	98
11	制度を学ぶ研修Ⅱ～成年後見を支援に活かす7つのポイント～	1	1	48	23
12	制度を学ぶ研修Ⅲ～横浜市の福祉施策～	1	1	60	50
13	制度を学ぶ研修Ⅳ～地域包括ケアシステム強化のための介護保険制度改正の概要～	1	1	60	26
14	コミュニケーション研修【出張型】	1	1	50	55
15	プレゼンテーション研修【出張型】	1	1	42	39
16	プレゼンテーション研修	1	1	42	46
17	ファシリテーション研修	1	2	36	50
18	医療機関との連携の進め方	1	1	36	34
19	口から食べることをチームで支援しよう！	1	1	50	65
20	薬を知って上手に付き合おう～抗生物質の正しい知識～	1	1	50	63
21	児童精神科医に聞く～子どもの発達障害について～	1	1	50	74
22	うつ病の基礎知識	1	1	50	94
23	摂食嚥下（食べる・飲み込むこと）のメカニズムと誤嚥予防～いつまでもおいしく食事をするために～【市民啓発】	1	1	150	139
24	摂食嚥下（食べる・飲み込むこと）のメカニズムと誤嚥予防～いつまでもおいしく食事をするために～【応用編】	1	1	50	45
25	こどもの食物アレルギーとアトピー性皮膚炎～正しい知識と対応～	1	1	50	60
26	摂食嚥下（食べる・飲み込むこと）のメカニズムと誤嚥予防～いつまでもおいしく食事をするために～【市民啓発】（追加コース）	1	1	150	127

27	摂食嚥下のメカニズムと誤嚥予防～【系統的アプローチのポイント】	1	1	36	39
計 27 件		27	29	1,434	1,467

ウ 地域力を高める：5件

地域貢献の理解（専門知識・技術の地域還元等）を深め、地域協働について主体的に気づき・考え・行動することを目的として研修を実施しました。

研 修 名		コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	地域福祉つなぎ隊研修【出張型】	1	3	36	41
2	福祉施設職員のための「地域とのつながり」講座	1	1	36	19
3	小地域福祉活動推進研修	1	1	1,000	272
4	認知症高齢者のケア～認知症高齢者の日常を支えるケアとは～	1	1	48	61
5	親なきあとの「成年後見」【出張型】	1	1	300	140
計 5 件		5	7	1,420	533

エ 横浜市民生委員児童委員研修：5件

民生委員児童委員、主任児童委員の方を対象とした、各種研修を実施しました。

研 修 名		コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	地区会長研修	1	1	524	431
2	中堅リーダー養成研修 ②	4	4	262	241
3	中堅リーダー養成研修 ③	4	4	262	224
4	主任児童委員研修	1	1	508	376
5	テーマ別研修	4	4	262	216
計 5 件		14	14	1,818	1,488

オ 受講者アンケート 結果

4段階で評価項目を設定し、受講者からの「4」と「3」の評価を併せた結果、96.5%の総合評価をいただきました。

研修内容の理解度 (%)	97.8
講師の指導方法の適切さ (%)	97.3
研修内容の満足度 (%)	95.5
今後の業務への参考度 (%)	95.4
総合評価 (%)	96.5

アンケート回収率 (%)	94.0
--------------	------

## (2) 研修運営関連会議

研修事業をより円滑に進めるために、外部有識者を中心とする研修委員会を設置し、研修事業の方針、企画、進行管理等について協議しました。新規・継続・終了の研修や開催方法等についての意見もいただき、その意見を参考に、保健分野の研修を拡充したほか、土日の研修の実施にもつなげました。

また、次年度研修の一部を委託するため、研修実施提案を公募し選定会議に諮りました。新規の研修委託先の選考方法について、プレゼンテーションの実施を取り入れ、研修委員の参画枠を広げることにより、事業方針に基づいた研修実施委託先を選定できる工夫を行いました。

### ア ウィリング横浜研修委員会

ウィリング横浜研修等実施要綱に基づき、各種事業推進の具体性を高めるため、研修委員会を実施し、企画、評価及び進行管理を行った結果、委員の意見をもとに土曜日・日曜日の研修開催や無料研修の開催（横浜市立大学共催研修）に繋がりました。また、研修受講対象者について市所管課と整理を行い、研修定員に満たない場合は横浜市職員も受講可能としました。

保健分野の研修の拡充については、カレッジ参画機関実施研修を把握した上で、ウィリング横浜が実施する研修を精査することが課題としてあげられました。

〔委員構成：学識経験者 2 人、よこはま福祉・保健カレッジ関係機関 2 人、行政関係者 1 人、ウィリング横浜 1 人 計 6 人〕

#### <第 1 回>

開催日：平成 30 年 6 月 8 日（金）

内 容：平成 29 年度ウィリング横浜事業報告について  
平成 30 年度研修等の年間スケジュールについて

出席者：委員 6 人

#### <第 2 回>

開催日：平成 30 年 10 月 31 日（水）

内 容：平成 30 年度 研修事業中間振り返りについて  
平成 30 年度 各事業の進捗状況について  
平成 31 年度 研修計画について  
選定会議について

出席者：委員 4 人

#### <第 3 回>

開催日：平成 31 年 1 月 18 日（金）

内 容：平成 30 年度事業推進状況（平成 30 年 12 月現在）  
平成 31 年度研修等計画（案）について

出席者：委員 5 人

### イ 研修企画選定会議の開催

より質の高い研修企画の実現を目的として、ウィリング横浜研修等実施要綱においては団体等に主催研修の一部を委託することができると定めています。今年度は次の 2 研修について受託団体を公募し、研修委員会委員等からなる研修企画選定会議を開催し、受託団体を決定しました。

開催日：平成 31 年 3 月 18 日（月）



内 容：平成31年度研修企画の選定について

- ①苦情対応基礎研修
- ②ファシリテーション研修

出席者：4人（内訳：研修委員3人、市社協総務担当課長1人）

### （3）福祉保健従事者養成のための相談の実施

横浜市内の福祉・保健事業者の職場内における職員研修の実施方法や講師に関する相談など、研修・人材育成に関する相談に対応しました。内容としては、「リスクマネジメント研修」や「プレゼンテーション研修」等の講師を紹介し、法人内での研修実施の支援を行いました。講師紹介のみでは研修実施が難しい事業所への支援が課題であり、今後の取り組みとして研修コンサルティングを展開していきます。

相談受付件数 19件

## 3 よこはま福祉・保健カレッジ事業

「よこはま福祉・保健カレッジ事業に関する覚書」を横浜市内の大学・専門学校・職能団体・NPO法人等の参画機関と締結しました。参画機関間における福祉保健分野の人材確保・定着・育成の情報交換や相互協力に向けた連絡調整等を目的として、全参画機関によって構成する連絡会議を設置しています。その連絡会議の運営及び事業企画等について検討するため、連絡会議参画機関から選出された参画機関による事業企画分科会を設置しています。

30年度は未参画機関への周知および訪問を10機関に行った結果、新たに3機関が参画しました。横浜市内の福祉保健分野の情報交換や相互協力を進めるため、今後も未参画機関へ参画を働きかけていきます。

### ア 参画機関数

	28年度	29年度	30年度
カレッジ参画機関数	19	18	21

### イ よこはま福祉・保健カレッジ認定講座の実施

「よこはま福祉人材育成指針」の理念に基づき、各参画機関より申請された研修について選定を行い、カレッジ認定講座としました。

講座数	143講座（内、ウィリング横浜主催研修10講座を含む）
受講者	4,700人（内、ウィリング横浜主催研修737人を含む）

### ウ よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議の開催

参画機関の相互連携・協力実現に向けて、よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議を開催しました。

<第1回>

開催日：平成30年6月28日（木）

内 容：よこはま福祉・保健カレッジ 連絡会議代表・副代表の選出について  
平成29年度よこはま福祉・保健カレッジ事業報告について  
各機関平成30年度事業計画について  
平成30年度サントクフェスティバルについて

その他、情報交換 等

出席者：14機関 20人

<第2回>

開催日：平成31年3月14日（木）

内 容：新規参画団体のご紹介について

「第3回サントクフェスティバル」実施報告について

よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議分科会設置要領の改正について

ハマ・キャリ・ネット カレッジ参画団体バナー設置について

よこはま福祉・保健カレッジ事業企画分科会報告について

よこはま福祉・保健カレッジ事業に関する諸手続きについて（覚書締結 等）

その他、情報交換 等

出席者：14機関 16人

#### エ よこはま福祉・保健カレッジとウィリング横浜の事業連携

事業企画分科会を中心に、次のとおり連携を進めました。

○参画機関の専門性を生かしウィリング横浜の各事業との連携を進めた、市民啓発イベント「第3回サントクフェスティバル」を実施しました。今回は、「災害」をテーマに、講演会や体験コーナー（避難所運営ゲーム）等を実施しました。

○参画機関と連携して、人材確保事業として就職支援や定着支援のための講座等を実施しました。

・介護労働安定センター「福祉施設見学ツアー」「合同就職説明会」

○「よこはま福祉保健研修情報サイト“ハマ・キャリ・ネット”」の中に、よこはま福祉・保健カレッジの紹介ページを新規に作成し参画機関のバナーを設置しました。

#### 4 情報収集・提供事業

社会福祉・保健関連分野の図書・資料等を幅広く収集し、貸出や館内閲覧等の方法で提供するほか、インターネットで図書の検索ができるシステムの運用を行い、市民に利用しやすい情報提供を行いました。特に蔵書の収集については、横浜市社会福祉協議会地域福祉課と連携し、全国の民生委員児童委員協議会発行の、民生委員制度創立100周年の記念誌の収集強化を図りました。

今年度初めて、横浜市民生委員児童委員協議会と共催で、テーマに合わせた書籍・定期刊行物等を展示する「企画展」を開催し、多くの方にご利用いただきました。

30年度は、前年と比較して利用者数と貸出数は増加していますが、新規登録者数は減少傾向が続いています。新たな広告媒体により周知に努めましたが、新規登録者数の増加については継続的な課題となっています。31年度は返却方法を検討し、新たな利用者の獲得に取り組みます。

#### ア 収集整備状況

	28年度	29年度	30年度	所蔵数
図書・資料（点）	474	436	766	33,131
合冊製本（点）	90	69	71	5,065
逐次刊行物（点）	800	819	773	34,081
ビデオ・DVD（点）	31	29	25	1,235
合 計	1,395	1,353	1635	73,512

## イ 利用状況

### (ア) 利用者数・館外貸出数

	28年度	29年度	30年度
利用者数 (人)	10,775	9,375	9,898
貸出数 (件)	5,397	5,401	6,080

### (イ) 登録者数

	28年度	29年度	30年度
登録者数 (人)	343	293	250

## ウ 企画展

	期間	テーマ	連携講座等	閲覧者数 (人)
1	5月21日～6月22日	身近な地域の見守り役 民生委員・児童委員 ～みんなの笑顔のために～	横浜市民生委員児童委員協議 会共催	100
2	12月3日～12月26日	障害について考えよう	横浜市健康福祉局障害支援課 後援	149
3	3月2日～3月16日	防災について	「第3回サントクフェスティ バル」連携	75

## 5 人材確保・定着支援事業

福祉・介護に理解と意欲のある人材の確保・就労支援を目的として、市・県社協等の関係機関、団体の協力を得て実施しました。

慢性的な人材不足のなかで、就職相談会の開催等において、人材を求める事業所の高いニーズと参加者数の少なさに乖離があり、参加者増加が課題となっています。31年度は更に広報周知に取り組みます。

### ア 福祉保健・介護のお仕事個別相談

福祉・介護の求職者等を対象に個別相談を実施しました。

毎週月曜日 14:00～16:00

毎週金曜日 10:00～12:00

開催日数：88日 相談者：62人

### イ 福祉保健人材の発掘

福祉求職者発掘のため、人材確保事業を実施する関係機関と協力し、大学、専門学校、養成校へ訪問し、情報収集を行いました。また、区社会福祉協議会や「よこはま福祉・保健カレッジ」参加団体の求職支援事業に協力し、福祉人材を発掘し、確保及び求職支援を行いました。

#### (ア) 区社協就職相談会

5区【泉区、戸塚区(2回)、港南・南・磯子区合同】

相談会参加者270人 うち個別相談者25人

#### (ウ) その他

職業訓練事業所主催実務者研修受講者相談：44人×1回

職業訓練事業所主催実務者研修受講者ガイダンス：44人×1回  
職業訓練事業所主催実務者研修受講者合同就職相談会：44人×2回

## エ 福祉のしごと☆魅力発見！事業

福祉の仕事に対する理解を深めるとともに、求職者を発掘し人材確保に繋げることを目的として、福祉の仕事に就職を希望する方や興味関心のある方を対象に、説明会及び相談会を実施しました。

また、福祉業界への就労に興味・関心のある方を対象に、福祉施設の見学と採用担当者及び職員との交流を行うとともに福祉職場最新情報をお伝えする等、就労に向けた情報提供を行いました。

### (ア) 福祉施設見学会

開催日：平成30年6月14日（木）

参加者：44人 施設数：8施設

### (イ) 職業訓練事業所主催実務者研修受講者合同就職相談会（再掲）

開催日：平成30年9月14日（金）・9月19日（水）

参加者：44人×2回

### (ウ) 福祉施設就職相談会&講演会～使える！伝わる！ネット・SNSによる情報発信のポイント～（第3回サントクフェスティバル）

開催日：平成31年3月2日（土）

参加者：34人

## オ 福祉施設・事業所等の訪問

次を目的に市内の福祉施設等に出向きヒアリングを実施しました。

### (ア) ウィリング横浜主催研修へのご意見、ご要望の収集及び周知

### (イ) 人材確保や育成状況及び施設内外の研修受講実績等の把握

### (ウ) 個別相談に活用するための求人・採用実態、職員構成等の情報収集

### (エ) 「ウェルじゃん」の周知及び活用促進

### (オ) 人材定着の施策、工夫についての情報収集

・訪問件数 11件

## カ 福祉保健交流スペース「ウェルじゃん」の運営

福祉に関する人々（福祉保健事業従事者、ウィリング横浜利用者、福祉に関心がある市民など）が交流を深めるきっかけの場、福祉に関する各種情報を提供する場として、次のとおり運営しました。

### (ア) 「福祉・介護のお仕事 個別相談」（再掲）

### (イ) 書籍コーナー、広報紙・イベント情報コーナー、情報交換コーナーの開設

### (ウ) 求人情報提供コーナーの開設

福祉関係の求人情報を提供しました。

・登録法人数： 36法人

・求人情報提供数： 335件

## 6 研究事業

### ア 調査研究事業

横浜における福祉保健事業向上のため、調査研究を行う団体を広く募集し、必要な情報を提供しました。個々の調査研究事業を支援するとともに、定期的に代表者連絡会を開催し、お互いの研究内容と成果を共有することで、横浜市内の福祉保健サービスの向上に努めました。

また、調査研究団体の研究成果（ブリーフセラピーを使ったカウンセリングの実践

について等) をより多くの幅広い層に周知するため、「第3回サントクフェスティバル」内で研究発表を行いました。

30年度の登録団体数は、平成28年度に行った「調査研究あり方検討会」に基づき支援内容を変更したことにより減少しました。登録団体数の減少を課題と考え、支援内容を見直し、場の提供を可能としました。併せて31年度は主催研修の受講者へ研修内容に合致した調査研究の提案を行う等の支援により、登録団体数を増加させていきたいと考えます。

	28年度	29年度	30年度
登録団体数(団体)	10	8	3

#### イ 代表者連絡会の開催

年2回開催しました。

第1回：平成30年11月26日(月)

第2回：平成31年2月13日(水)

#### ウ 研究発表大会の開催

調査研究団体が1年間の研究成果およびミニ講座をポスターセッションの形式で発表しました。より多くの幅広い層に周知するため、「第3回サントクフェスティバル」内で実施しました。

開催日：平成31年3月2日(土)

発表団体数：自主研究団体 3団体(発表または活動掲示)

参加者数：32人

### 7 ウィリング横浜の特色を生かした独自性のある事業

こころの相談室を運営しています。

福祉保健関係者の福利厚生や職場環境の改善を目的として、カウンセラーによる相談事業を実施しました。相談が必要な方へ相談室の情報が確実に届くよう、対象者ごとのチラシを3種類作成し配布しました。加えて、新たにA2版カラーポスターを作成し市内の施設・事業所等約2,700か所へ配布し、周知に努めました。

利用件数は増加傾向にあります。より多くの方に活用いただくことを目的に、相談対象者について市所管課と整理を行いました。30年度までは、従事者は本人およびその関係者までが対象であり活動者は本人のみが対象となっていました。31年度からは従事者同様に活動者も関係者までを相談対象としています。

	28年度	29年度	30年度
開設日数(日)	99	146	146
利用件数(件)	141	156	176

平成30年度 福祉保健研修交流センターウィリング横浜 収支決算書

収入

項目	指定管理	指定管理外	合計	内部取引消去	内部取引消去後 合計	備考欄
受託金収入	182,155,266	11,000,000	173,155,266	0	173,155,266	
横浜市指定管理料	182,155,266	0	182,155,266	0	182,155,266	
横浜市受託金収入	0	11,000,000	11,000,000	0	11,000,000	
分担金収入	37,500	489,316	526,816	0	526,816	
事業収入	68,199,140	19,686,658	87,885,798	△ 3,701,480	84,184,318	
参加費収入	8,680,030	18,212,208	26,892,238	0	26,892,238	研修参加費
利用料収入	59,463,855	0	59,463,855	△ 3,701,480	55,762,375	研修室等利用料等
広告料収入	0	0	0	0	0	
手数料収入	55,255	1,474,450	1,529,705	0	1,529,705	レストラン売上手数料等
負担金収入	793,531	0	793,531	0	793,531	
利用料等負担金収入	525,340	0	525,340	0	525,340	コピー機利用料
負担金収入	268,191	0	268,191	0	268,191	研修テキスト代等
雑収入	3,048,384	0	3,048,384	0	3,048,384	自動販売機販売手数料等
サービス区分間繰入金収入	61,993,021	0	61,993,021	△ 61,993,021	0	
収入計	296,226,842	31,175,974	327,402,816	△ 65,694,501	261,708,315	

支出

項目	指定管理	指定管理外	合計	内部取引消去	内部取引消去後 合計	備考欄
人件費支出	121,915,109	12,120,106	134,035,215	0	134,035,215	
職員給料支出	59,732,599	6,975,600	66,708,199	0	66,708,199	
職員俸給	48,155,200	5,894,000	54,049,200	0	54,049,200	
職員諸手当	9,380,255	952,800	10,333,055	0	10,333,055	
通勤手当	2,197,144	128,800	2,325,944	0	2,325,944	
職員賞与支出	14,556,967	1,566,400	16,123,367	0	16,123,367	
非常勤職員給与支出	31,809,554	2,497,704	34,107,258	0	34,107,258	
法定福利費支出	16,015,989	1,080,402	17,096,391	0	17,096,391	社会保険料
事業費支出	106,851,272	29,748,679	136,599,951	△ 3,701,480	132,898,471	
水道光熱費支出	26,791,225	0	26,791,225	0	26,791,225	
消耗品費支出	3,546,866	1,032,828	4,579,694	0	4,579,694	事務用品等
器具什器費支出	1,591,380	334,454	1,925,834	0	1,925,834	机、パソコン等
保険料支出	114,386	0	114,386	0	114,386	施設賠償保険等
賃借料支出	1,338,364	5,055,233	6,393,597	△ 3,701,480	2,692,117	図書管理システム用機器、AEDリース等
諸謝金費支出	5,481,280	16,685,786	22,167,066	0	22,167,066	講師謝金等
旅費交通費支出	304,056	78,280	382,336	0	382,336	職員業務出張旅費
印刷製本費支出	1,477,250	2,046,357	3,523,607	0	3,523,607	研修資料印刷費等
修繕費支出	1,886,919	29,505	1,916,424	0	1,916,424	館内設備修理
通信運搬費支出	2,258,565	773,448	3,032,013	0	3,032,013	研修受講通知等送付、電話料金等
会議費支出	185,000	538,529	723,529	0	723,529	費用弁償等
広報費支出	246,000	45,380	291,380	0	291,380	貸会議室広告掲載費等
業務委託費支出	46,955,227	549,580	47,504,807	0	47,504,807	施設保守管理費等
手数料支出	1,513,326	118,398	1,631,724	0	1,631,724	振込手数料等
租税公課支出	10,907,661	1,139,001	12,046,662	0	12,046,662	消費税等
教材費支出	0	1,321,920	1,321,920	0	1,321,920	研修テキスト購入
蔵書購入費支出	2,253,767	0	2,253,767	0	2,253,767	情報資料室図書等購入
事務費支出	1,308,855	36,680	1,345,535	0	1,345,535	
福利厚生費支出(事務費)	383,872	36,680	420,552	0	420,552	健康診断費用等
研修研究費支出(事務費)	134,844	0	134,844	0	134,844	
事務消耗品費支出(事務費)	112,200	0	112,200	0	112,200	
通信運搬費支出(事務費)	45,360	0	45,360	0	45,360	
広報費支出(事務費)	20,520	0	20,520	0	20,520	
業務委託費支出(事務費)	73,872	0	73,872	0	73,872	
賃借料支出(事務費)	427,680	0	427,680	0	427,680	ネットワークセキュリティ経費
保守費支出(事務費)	100,507	0	100,507	0	100,507	経理システム保守等
諸会費支出(事務費)	10,000	0	10,000	0	10,000	
分担金支出	50,000	0	50,000	0	50,000	
負担金支出	15,964	0	15,964	0	15,964	
固定資産取得支出	959,472	805,464	1,764,936	0	1,764,936	ステージ台等
事業区分間繰入金支出	5,538,560	20,405,000	25,943,560	0	25,943,560	法人共通経費等
サービス区分間繰入金支出	55,612,357	6,380,664	61,993,021	△ 61,993,021	0	
支出計	292,251,589	69,496,593	361,748,182	△ 65,694,501	296,053,681	

収入計-支出計	3,975,253	△ 38,320,619	△ 34,345,366
前期末支払資金残高	39,299,543	76,597,648	115,897,191
当期末支払資金残高	43,274,796	38,277,029	81,551,825